



町長日誌

No.258

町長日誌の第 258 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を
町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

4月15日（火曜日） PM3:00

4月6日から15日までは「春の交通安全運動」、4月20日から30日までは「春の火災予防運動」、4月21日から5月31日までは「林野火災予防強調期間」と新年度開始とともに様々な注意喚起の運動期間が設けられます。ちなみに、交通安全は役場住民課、火災予防は興部消防支署、林野火災は産業振興課が担当しており、それぞれの事務局として関係する住民団体、消防団等のご協力をいただいて注意喚起運動を推進しています。特に今年は雪解けも早く、道路の傷みも多いようですので安全運転をお願いします。また、乾燥が進む季節です。全国で多発している山火事は他人ごとではありません。くれぐれもご注意ください。

4月は人事異動の季節でもあります。役場では総務課長ほか5名が退職しました。定年延長制度が始まって最初の退職者で1年延長での退職です。新規採用は事務職2名（高卒）、図書館司書2名、看護師1名の5名です。なお定年退職者4名は再任用・再雇用として勤務をしてもらいます。また、産前産後の女性のサポートを行う目的で「助産師」を1名会計年度任用職員として採用しました。病院では長崎大学医学部出身の医師を嘱託職員として採用しましたので、国保病院は3人の医師体制となります。今年度もどうぞよろしくをお願いします。

3月21日（金曜日）

沙留漁港に漁協が建設していた「製氷貯氷施設」が完成し、午前11時から竣工式が行われました。海岸に近いと言う事もあり風が冷たく震え上がるような寒さの中でしたが、気温の上昇が深刻な夏場にホタテなどの鮮度を保つためには氷は欠かすことの出来なものとなっていて、製氷と貯氷能力の高い施設の整備は関係者の念願でした。製氷能力は旧施設が20トンに対し新施設は30トン製造できます。また、旧施設は取り壊さず内部を改造して冷却海水を製造する施設にする事業が認められましたので、今後改修工事を行う予定です。いずれも国の補助事業に採択されたものです。

3月26日（水曜日）

昨年11月に私が会長を務める「北海道酪農振興町村長会議」という団体で酪農・畜産対策の要望活動を行いました。例年ですと12月に新規対策メニューが閣議決定されるのですが、少数与党のため予算案の変更もあり得ると言う事で、毎年2月に行っていた予算に要望を反映してもらったお礼の挨拶回りが延び延びになっていました。ほぼ確定と言う事で、本日関係する農水省畜産局を中心に挨拶回りを行いました。改正された食料農村農業基本法により北海道は食糧生産基地と認定されました。また、国は5ケ年で生産構造の大転換を行うとしています。搾り過ぎるとすぐに余ったと言われる生乳も5年計画で需給調整できる仕組みを作ることになりました。農家の皆さんが安心して経営に取り組めるよう微力ではありますが私達首長も団結して国に働き掛けているのです。

道庁の副知事を6年間務められこのほど退任された浦本元人さんは平成21年4月から網走土木現業所（現在は網走建設管理部）最後の所長として勤務された方でした。鈴木知事の大番頭として様々なご苦労をされたことと思います。私と同年と言う事もあってか何となく気心が通じた方でした。また、オホーツク担当副知事として管内期成会などの要望を受けていただきアドバイスもたくさん頂戴しました。長い間、ありがとうございました。

別れと出会いの季節ですね。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

